



2024年3月期 通期決算説明資料

2023.04.01 ▶ 2024.3.31

2024.5.10

Securities Code 4290



中期経営計画 売上高3期連続成長

- パンデミックの影響を受けた中期経営計画3カ年において既存事業が堅調に推移し成長

対前年比 段階利益増益

- ワクチン関連業務収束に伴う収益性低下の影響を受けるも対前年比で段階利益増益

新中期経営計画策定

- テーマ「成長を繋ぐ～Origin/Next 50」

- 2024年3月期 決算サマリー
- 2024年3月期 事業別業績サマリー
- 2025年3月期 見通し
- 【重要指標】株主還元
- Appendix
- サステナビリティ

■ 2024年3月期 決算サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2023.3	FY2024.3	YoY (%)	通期予想	計画達成率
売上高	54,562	58,738	+4,175 (+7.7%)	56,500	104.0%
営業利益	7,840	7,921	+80 (+1.0%)	8,200	96.6%
経常利益	8,378	8,458	+79 (+1.0%)	8,700	97.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,318	5,791	+472 (+8.9%)	5,200	111.4%

- ワクチン関連業務による影響を受けたが、主要セグメントにおける既存事業の成長により減収分を吸収し、増収。
- 営業利益については、ワクチン関連業務収束による一時的な収益低下の影響に加え報酬体系の見直しにより計画未達となるも、当初の中期経営計画最終年度の目標は概ね達成。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券の売却による特別利益の計上や賃上げ促進税制の適用を受け、増益。

2024年3月期 連結損益計算書

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2023.3	FY2024.3	増減	YoY(%)
売上高	54,562	58,738	+4,175	+7.7%
売上原価	41,263	44,981	+3,717	+9.0%
売上総利益	13,299	13,757	+458	+3.4%
売上総利益率	24.4%	23.4%	(△1.0pt)	—
販売費及び一般管理費	5,458	5,835	+337	+6.9%
営業利益	7,840	7,921	+80	+1.0%
営業利益率	14.4%	13.5%	(△0.9pt)	—
経常利益	8,378	8,458	+79	+1.0%
経常利益率	15.4%	14.4%	(△1.0pt)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,318	5,791	+472	+8.9%

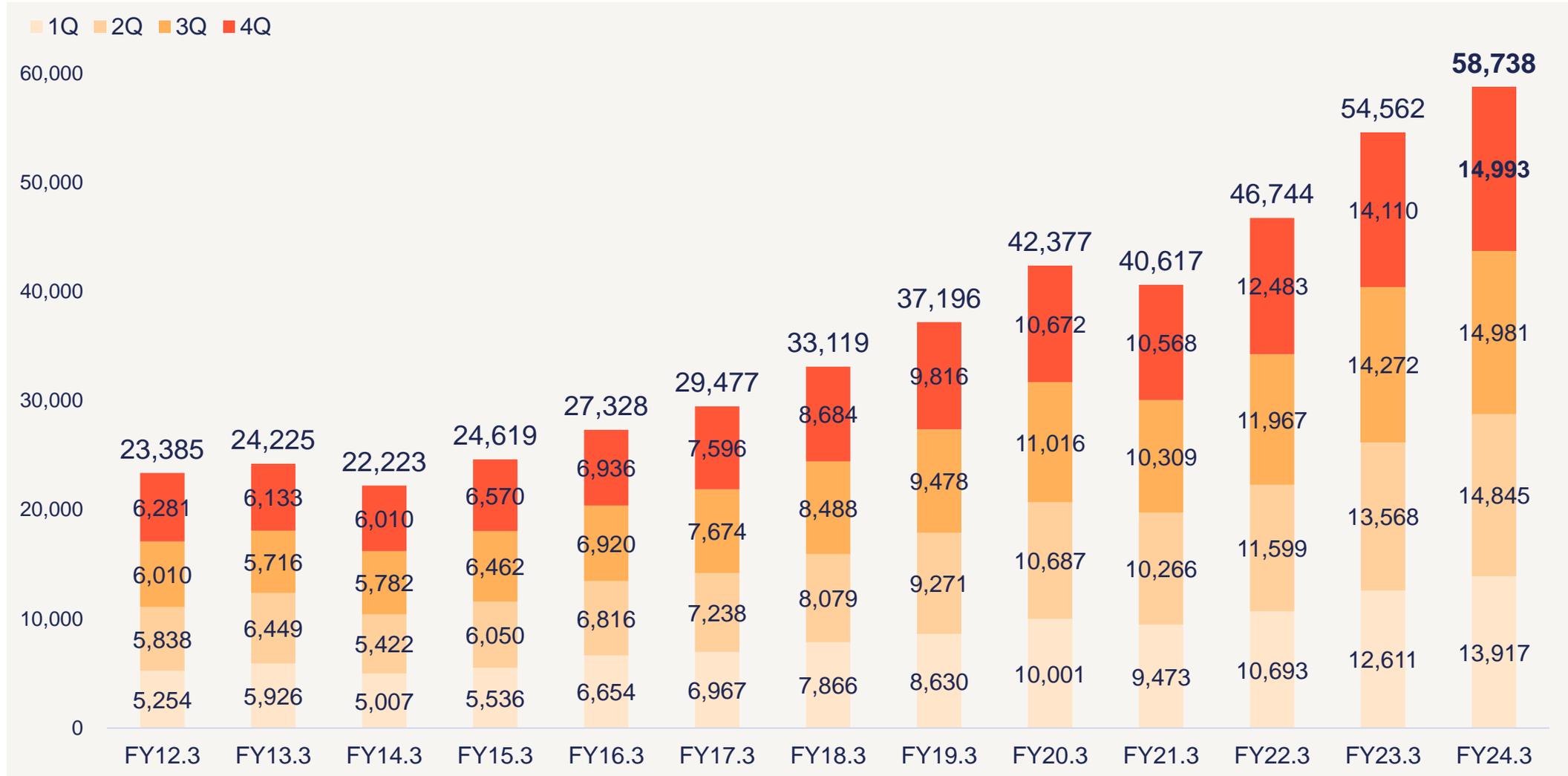
2024年3月期 連結貸借対照表

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

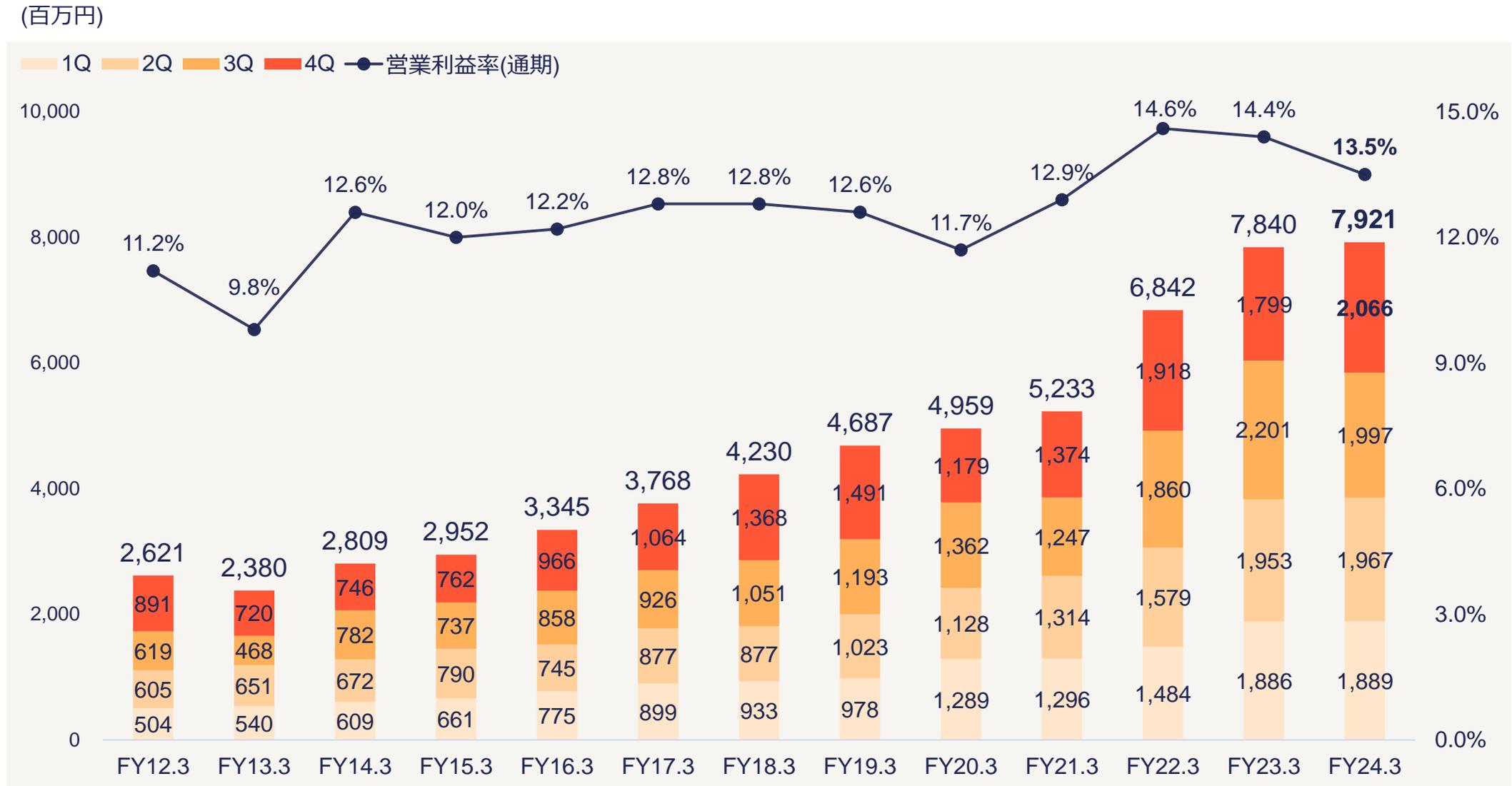
	2023年3月末	2024年3月末	増減	増減(%)
流動資産	35,892	40,740	+4,847	+13.5%
固定資産	24,380	27,096	+2,715	+11.1%
資産合計	60,273	67,836	+7,563	+12.5%
流動負債	15,701	17,778	+2,077	+13.2%
固定負債	2,753	2,832	+79	+2.9%
負債合計	18,455	20,611	+2,156	+11.7%
株主資本	36,781	40,603	+3,821	+10.4%
その他の包括利益累計額	2,297	3,418	+1,120	+48.8%
非支配株主持分等	2,738	3,203	+464	+17.0%
純資産合計	41,817	47,224	+5,406	+12.9%
負債純資産合計	60,273	67,836	+7,563	+12.5%

(百万円)



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

四半期営業利益推移



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

■ 2024年3月期 事業別業績サマリー

2024年3月期 事業別業績サマリー

(百万円)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3 売上高	YoY(%)	計画達成率	FY2024.3 営業利益	YoY(%)	計画達成率
オートモーティブ事業	25,300	+2,019 (+8.7%)	104.7%	3,542	+681 (+23.8%)	96.2%
プロパティ事業	7,061	+578 (+8.9%)	91.7%	502	+73 (+17.0%)	63.6%
グローバル事業	8,105	+1,373 (+20.4%)	104.9%	805	+111 (+16.0%)	104.6%
カスタマー事業	7,949	△1,638 (△17.1%)	112.9%	1,218	△1,174 (△49.1%)	125.7%
金融保証事業	8,971	+2,034 (+29.3%)	105.5%	2,073	+572 (+38.1%)	98.8%
IT事業	665	△212 (△24.2%)	105.7%	133	△50 (△27.5%)	102.3%
ソーシャル事業	683	+21 (+3.3%)	93.7%	△366	△142 (—)	—
合計	58,738	+4,175 (+7.7%)	104.0%	7,921	+80 (+1.0%)	96.6%

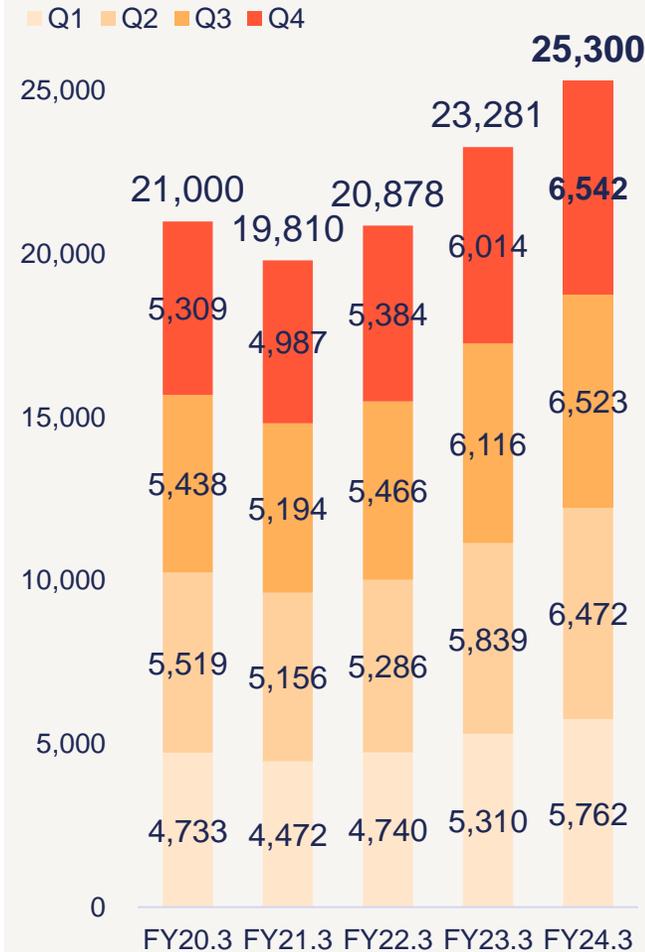
FY2024.3

売上高 **25,300** 百万円
YoY(%) (+8.7%)

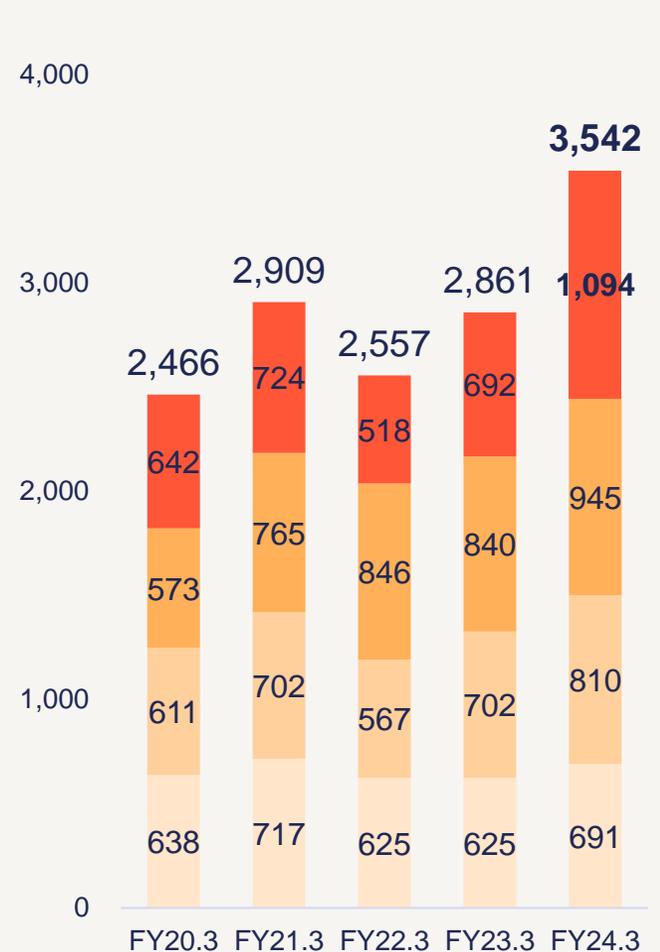
営業利益 **3,542** 百万円
YoY(%) (+23.8%)

- 一部クライアントとの契約形態変更(※)により、売上高の計上に影響。利益インパクトは無し。
※ 売上の仕入れ計上実費精算に変更。
影響額：△2,271百万円
- 自転車向けロードサービス、事故受付業務、国内外自動車メーカー向けサービス等の既存及び新規事業の成長により、増収。
- 搬送比率・搬送距離の増加に加え、体制強化等の人員補強や賃上げに伴う人件費が増加し、仕入が上昇したものの、価格改定及び既存及び新規事業の成長により、増益。

売上高 (百万円)

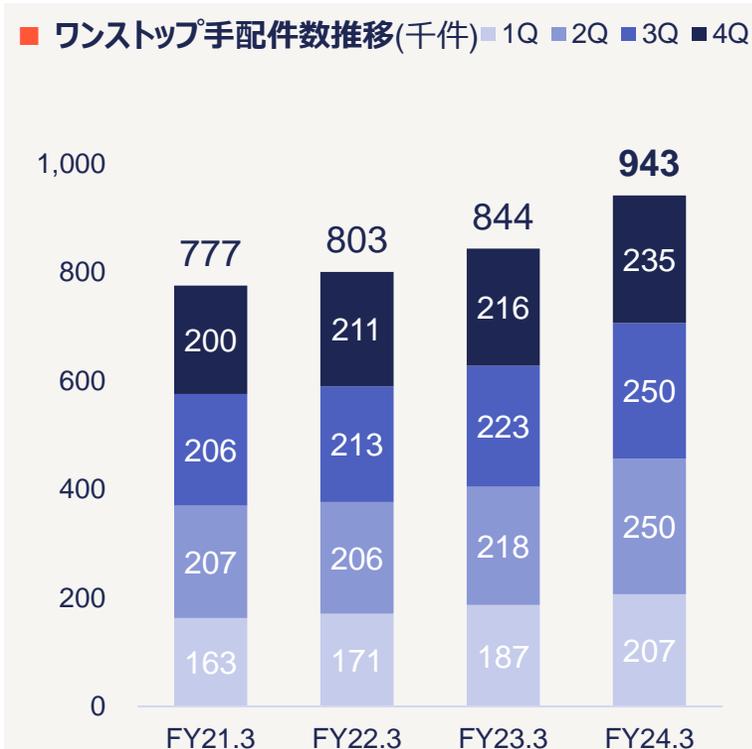


営業利益 (百万円)



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

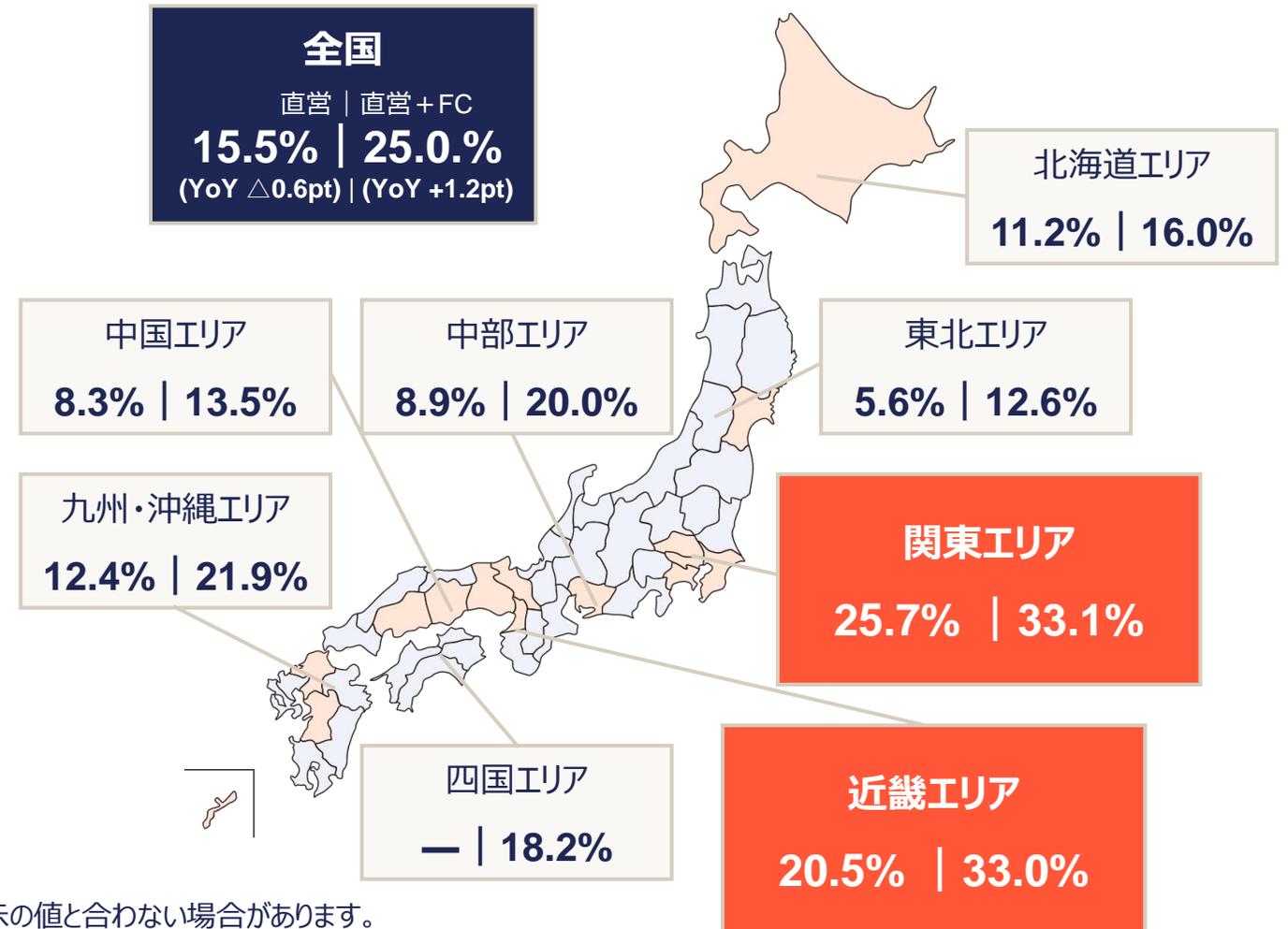
FY2024.3
手配件数 **943,387 件**
 YoY(%) **(+11.6%)**



表示単位未満の端数は切り捨てして表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

PREMIER Assist 直営及びフランチャイズ(FC)出動割合

■ 直営・FC
 ■ FCのみ



PREMIER Assist

PREMIER Assist ロードアシスト	FY2021.3	FY2022.3	FY2023.3	FY2024.3	FY2024.3 (計画)
PREMIER Assist 直営拠点数	31	31	31	34	31
PREMIER Assist FC加盟社数	42	63	85	107	110
うちEV用ポータブル充電器配備社数	—	—	—	73	73
PREMIER Assist 直営拠点人員数	217	235	254	278	280
PREMIER Assist 直営保有車両数	202	210	222	236	260
レッカー車	42	51	56	68	68
うちEV給電可能なレッカー車	1	2	45	56	56
積載車	72	72	80	79	95
サービスカー	77	78	78	85	89
特車(バイク専用車両)	2	2	2	0	2
バイク	9	7	6	4	4

当社グループ連結子会社の株式会社プレステージ・コアソリューションが、ドイツ自動車工業会による情報セキュリティ評価のTISAX参加企業として登録されました。※1

■ TISAXとは

TISAX(Trusted Information Security Assessment Exchange)は、ドイツ自動車工業会(VDA)が策定した情報セキュリティ上の評価基準(VDA-ISA)で、自動車メーカーや取引先、およびドイツ自動車工業会で構成される組織「ENX Association」によって管理・運営されている登録商標です。審査方法を標準化することで、ドイツ自動車工業会に所属する自動車メーカーが、新規及び既存サプライヤーの認証状況や評価結果を参照できるというものです。

■ 当社グループにおけるTISAX参加企業登録

クライアント企業である自動車メーカーがサプライヤーに求める情報セキュリティ基準を満たすために、2020年に初めてTISAX参加企業として登録されました。この度の再認証審査では、より広範囲な評価や現地調査を経て登録され、評価結果がENXポータルで取得可能となりました。※2

これは、当社グループが高度でグローバルな情報セキュリティレベルの管理・運営体制を築いていることの証明となることから、今後も継続的にお客様やクライアント企業からの信頼を維持するために、VDA-ISAに則った組織運営を行い、最適な技術やノウハウを取り入れてまいります。

本件に関するリリース情報

2024年3月15日 [ドイツ自動車工業会による情報セキュリティ評価「TISAX」参加企業として登録](#)

※1 取得拠点：秋田BPOメインキャンパス(秋田県秋田市新屋烏木町1-172) | スコープID：S11RPH | 審査ID：ATHNT4-3

※2 評価結果は関係者に限りENXポータル(<https://enx.com/tisax>)で閲覧可能です。

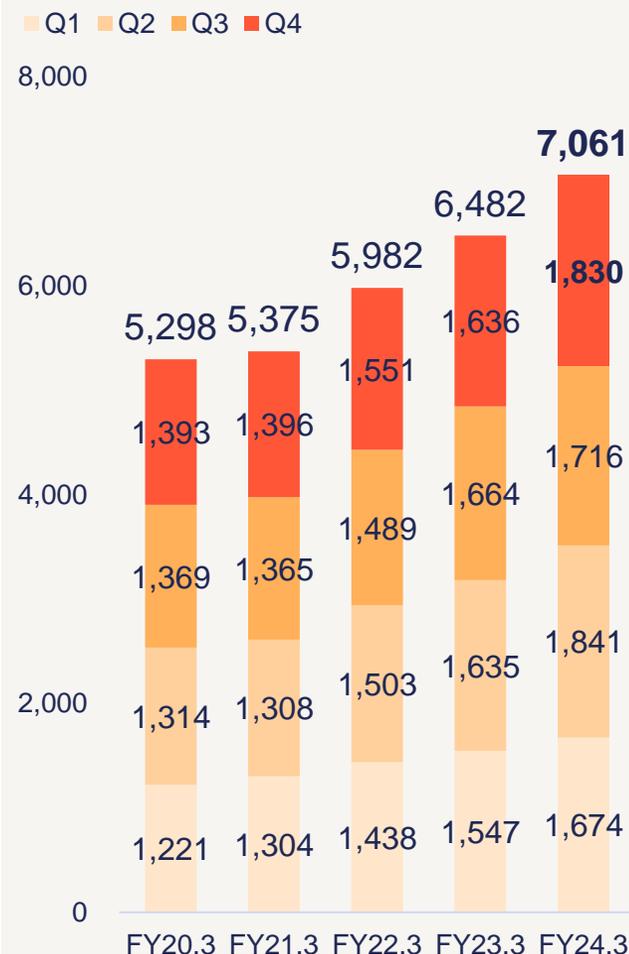
FY2024.3

売上高 **7,061** 百万円
YoY(%) (+8.9%)

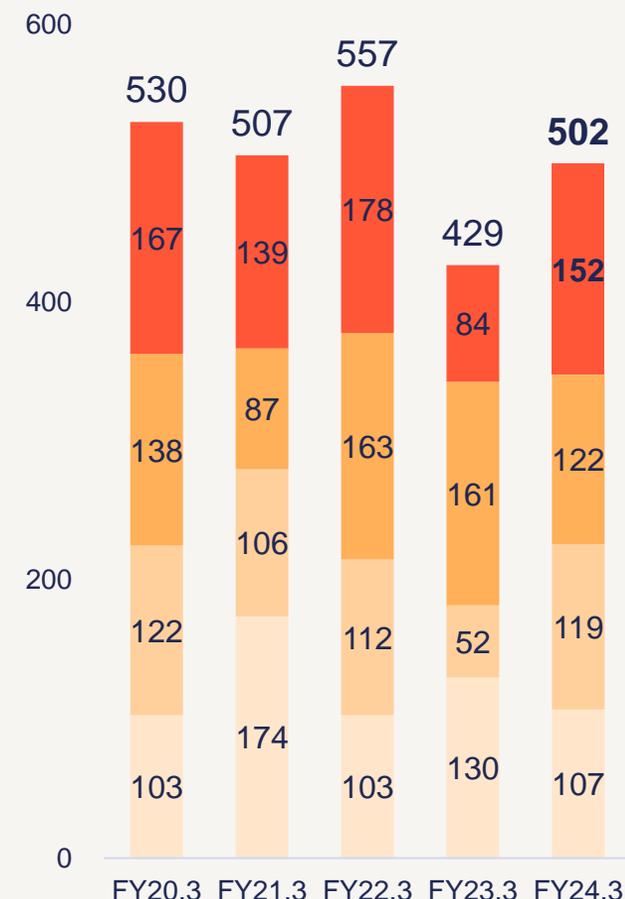
営業利益 **502** 百万円
YoY(%) (+17.0%)

- ホームアシストにおける一部既存サービスの縮小・変更があったものの、パークアシストの事業地拡大に伴う成長により、増収。
- ホームアシストはオペレーションの人員適正配置等に伴う原価上昇があったものの、パークアシストにおける駆けつけ拠点新設等の前期に実行した先行投資の効果により、増益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

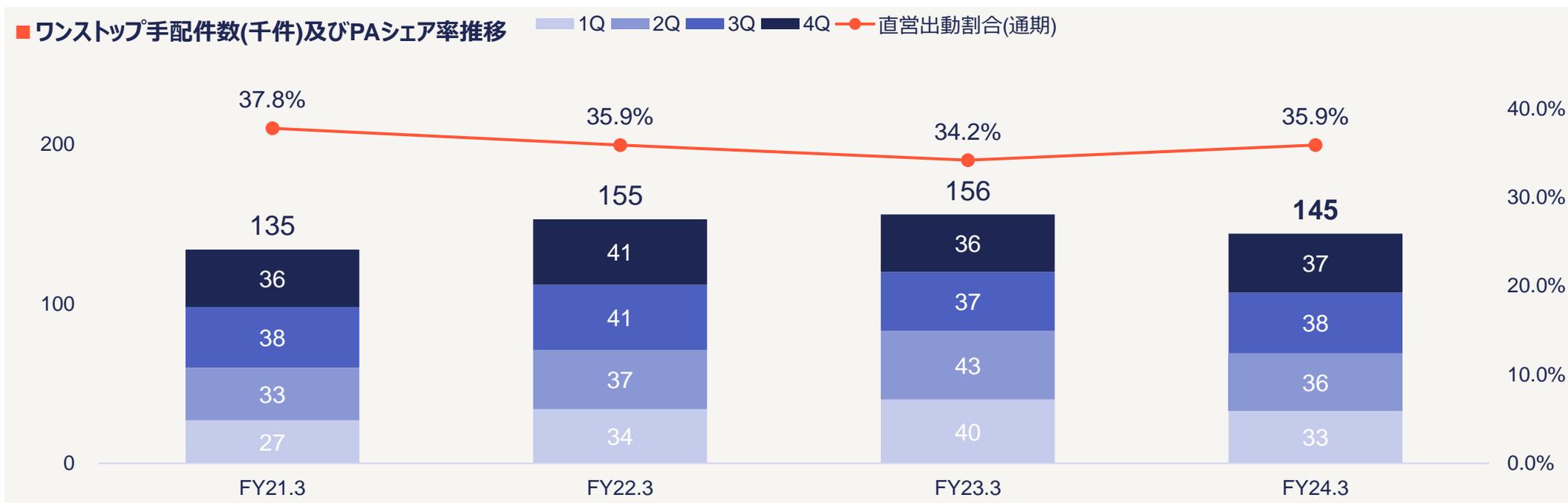


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

PREMIER Assist

FY2024.3
手配件数
145,750 件
 YoY(%) **(△8.0%)**

PREMIER Assist ホームアシストマテリアル	FY21.3	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY24.3 (計画)
拠点数	13	14	14	14	14
人員数	110	129	136	141	166

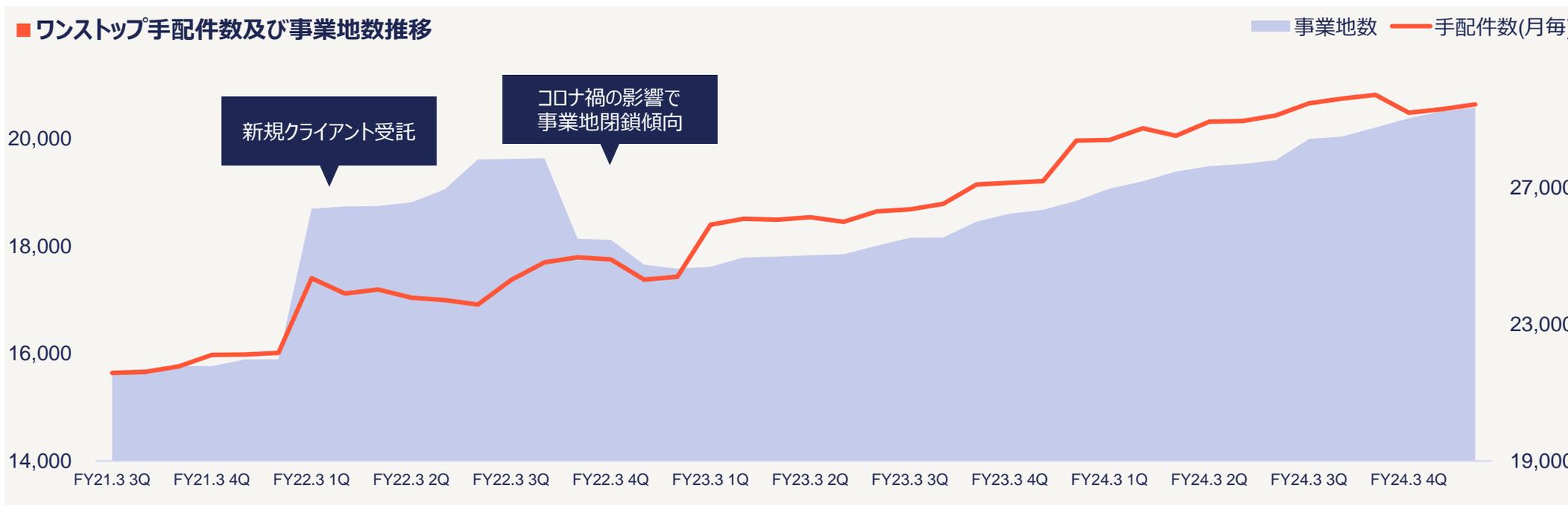


表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

PREMIER Assist

FY2024.3
手配件数
349,362 件
 YoY(%) **(+9.4%)**

PREMIER Assist パークアシストマテリアル	FY21.3	FY22.3	FY23.3	FY24.3	FY24.3 (計画)
拠点数	11	11	11	10	10
人員数	230	247	263	264	272



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

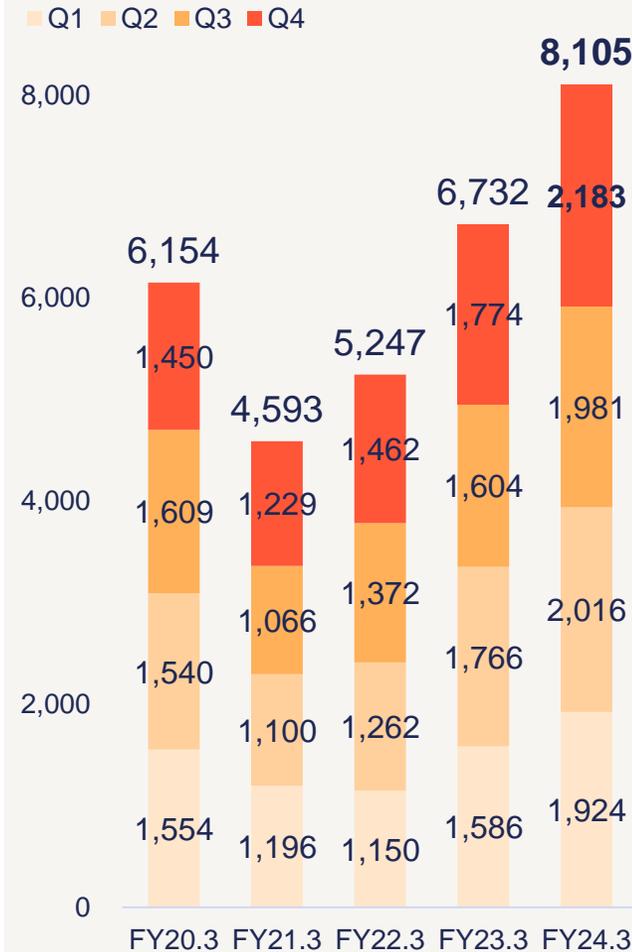
FY2024.3

売上高 **8,105** 百万円
YoY(%) (+20.4%)

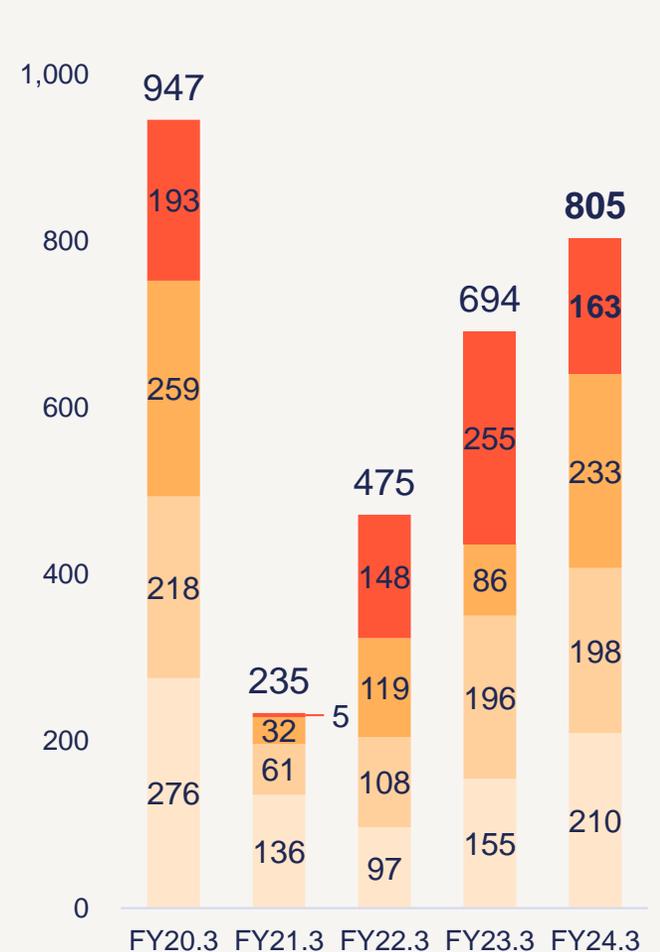
営業利益 **805** 百万円
YoY(%) (+16.0%)

- 米国クレジットカード事業において、インフレの影響による個人消費の減少等があったものの、海外渡航者増加を背景とした需要を取り込み、海外旅行保険付帯サービスやジャパニーズヘルプデスク等の利用の増加に加え、ヘルスケアプログラムの会員数増加及びクレームエージェントの対応エリア拡大が寄与し、増収。
- 米国クレジットカード事業において、現地提携銀行への支払手数料の高止まりによる影響はあったものの、その他の既存サービスの利用が増加し、増益。

売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



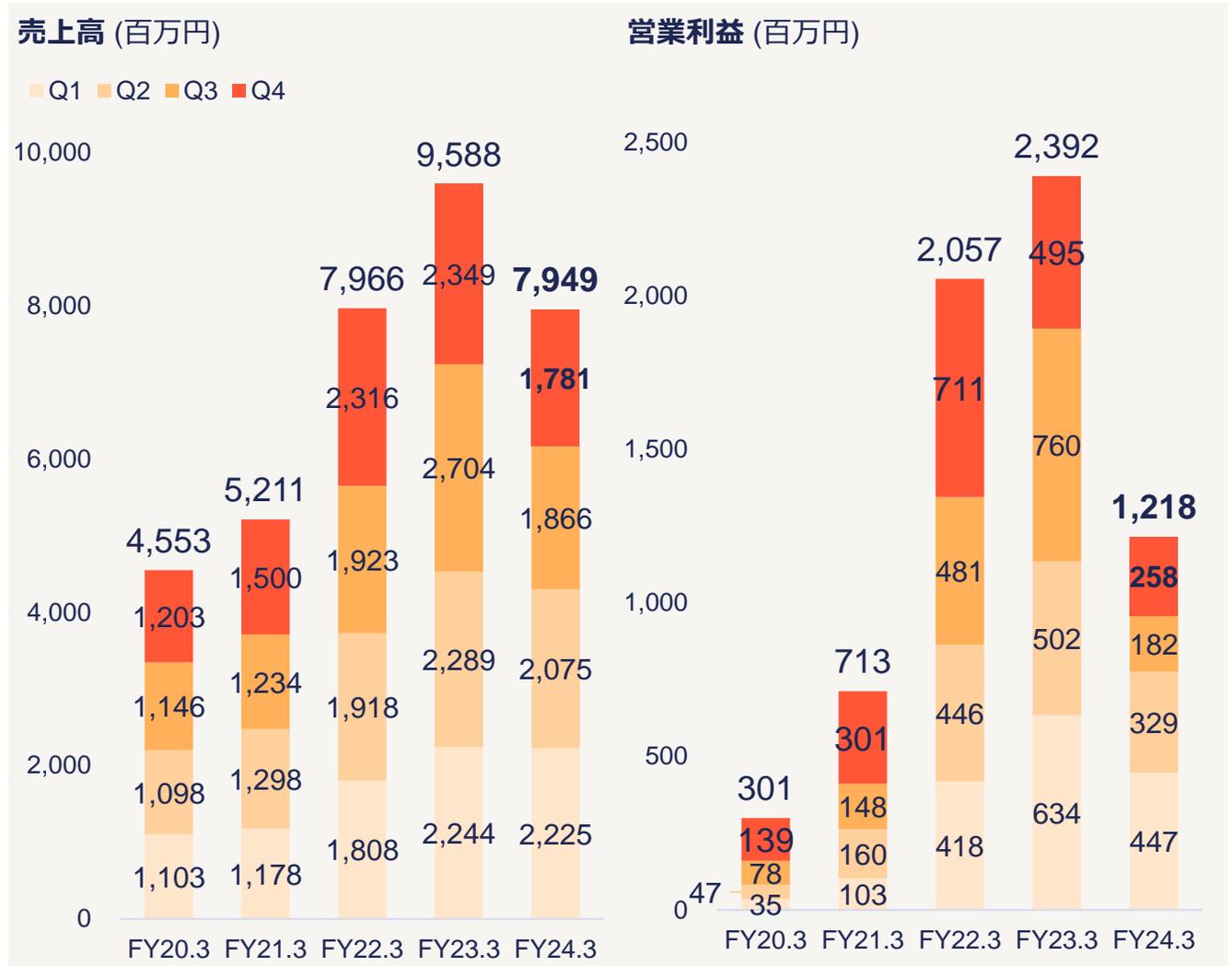
表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

FY2024.3

売上高 **7,949**百万円
YoY(%) (△17.1%)

営業利益 **1,218**百万円
YoY(%) (△49.1%)

- ワクチン関連業務が収束したことによる、収益低下が影響し、減収減益。
- コロナ禍で減少していたプロジェクトの業務増加に伴う人員補充等により、原価が上昇。



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

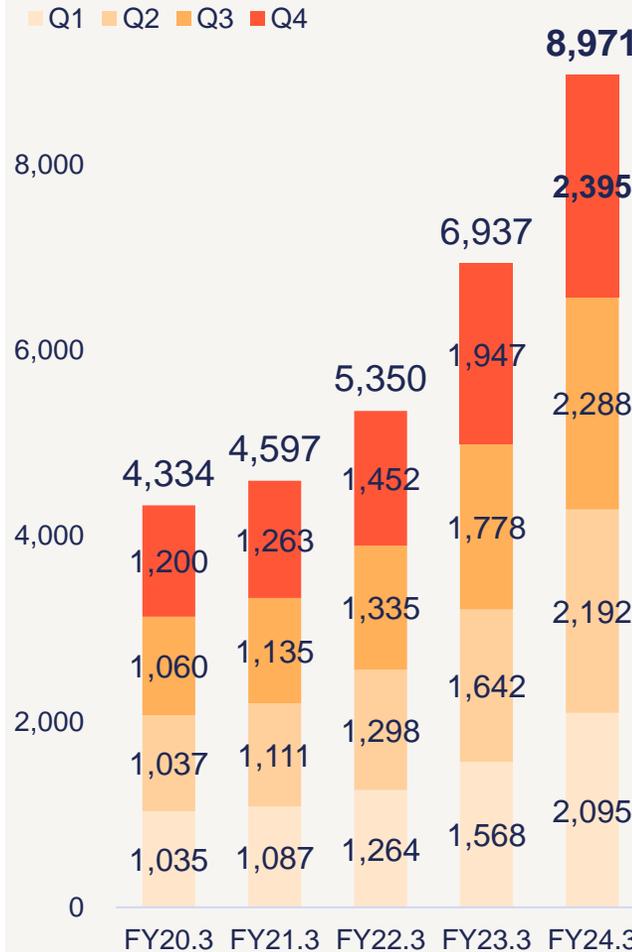
FY2024.3

売上高 **8,971** 百万円
YoY(%) (+29.3%)

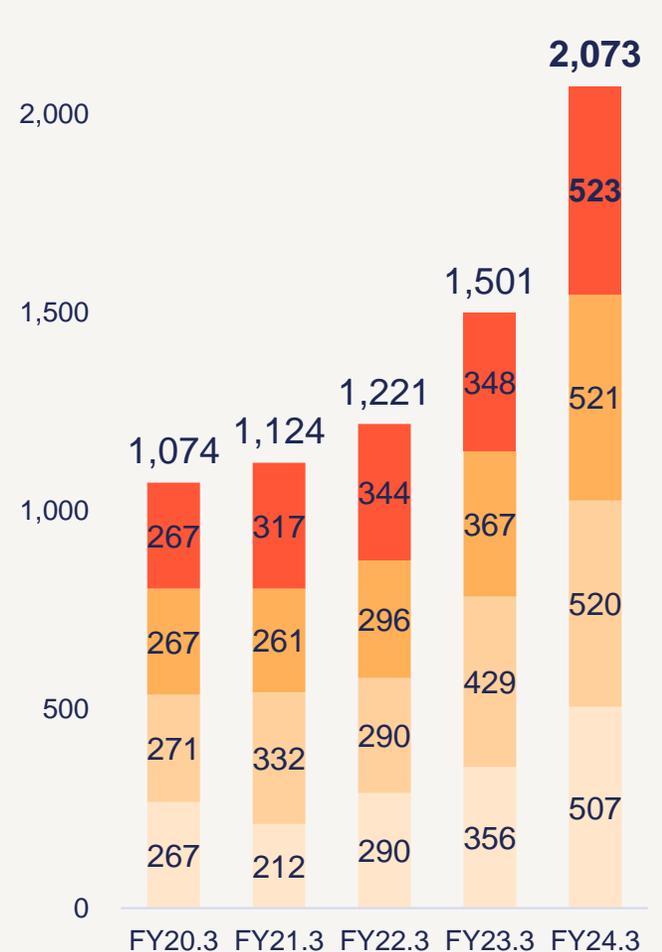
営業利益 **2,073** 百万円
YoY(%) (+38.1%)

- グループ会社の株式会社イントラスト(7191)が運営する家賃債務保証事業において、新規契約数の増加に伴い新規保証料及び更新保証料が大幅に増加し、増収。
- 事業運営に係る各種手数料及び貸倒費用の増加等があったものの、その他の費用増加を一定水準に抑制できたことにより、増益。

売上高 (百万円)



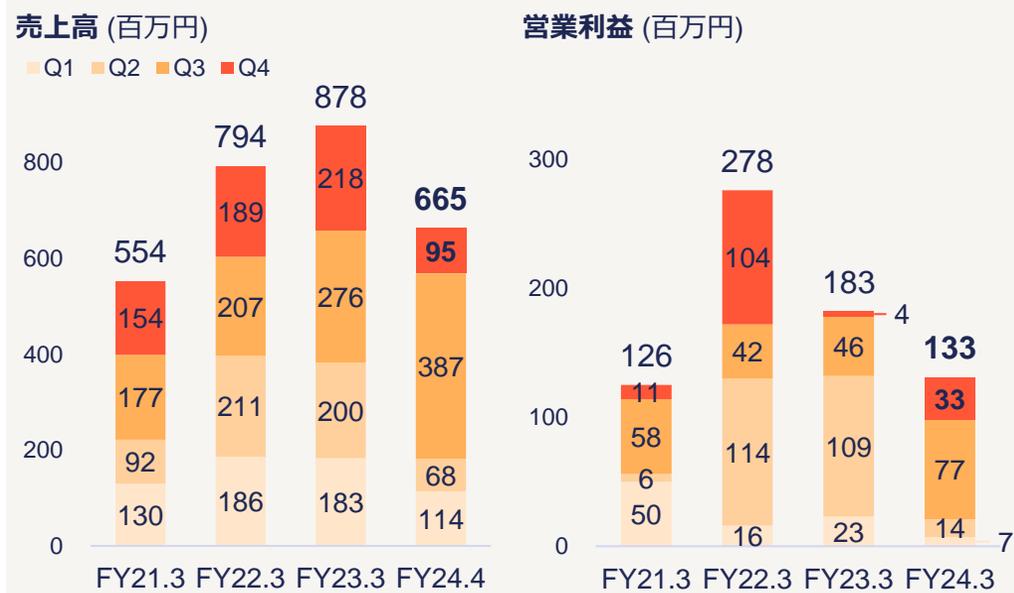
営業利益 (百万円)



表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

IT事業

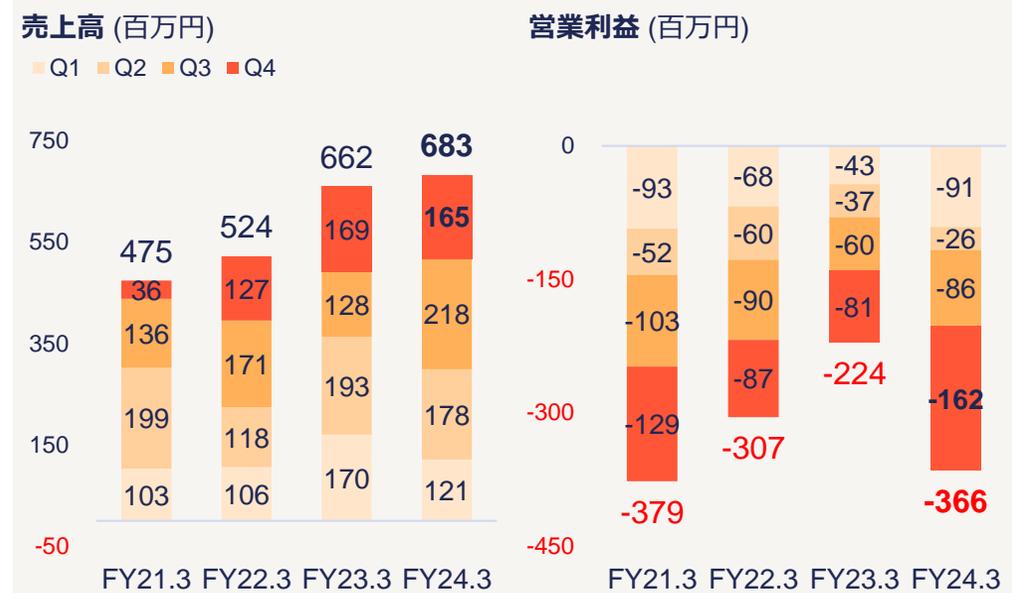
FY2024.3		YoY(%)
売上高	665 百万円	(△24.2%)
営業利益	133 百万円	(△27.5%)



- サプライチェーンマネジメントシステムのライセンスの解約に加え、前年度に検収が集中した反動により、減収減益。

ソーシャル事業

FY2024.3		YoY(%)
売上高	683 百万円	(+3.3%)
営業利益	△366 百万円	(—)



- 女子スポーツチーム「アランマーレ」におけるスポンサー収入等により、増収。
- 保育事業「オレンジリー」における人件費増加及び「アランマーレ」各チームにおける戦力強化及び活動費用が増加したため、赤字幅が拡大。

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

■ 2025年3月期 見通し

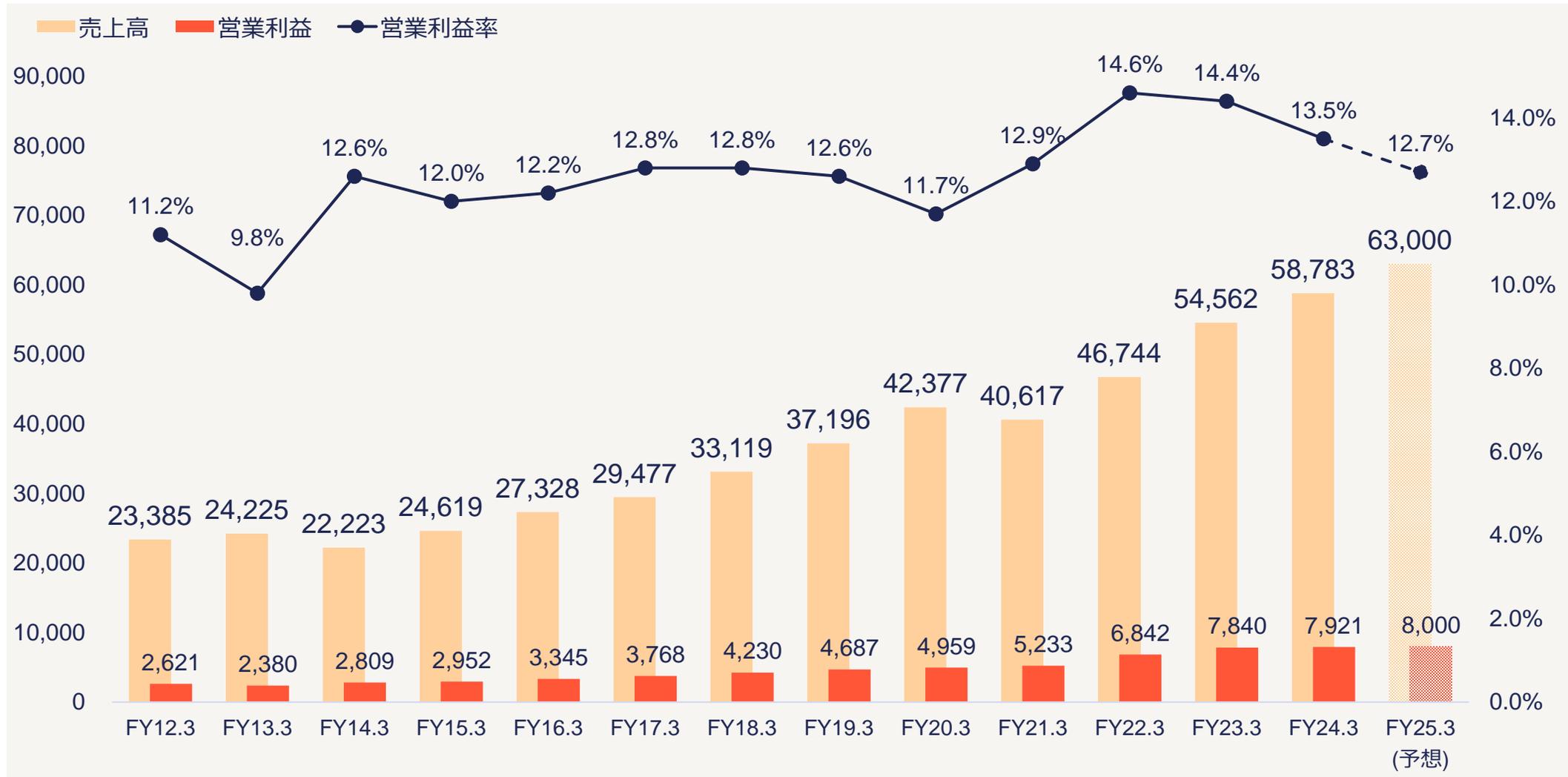
(百万円) *対米ドル為替レート(予想) : 151.43円 (2024年4月1日時点)

表示単位未満の端数は切り捨てて表示しております。

	FY2024.3 (実績)	FY2025.3 (予想)	増減	YoY(%)
売上高	58,738	63,000	+4,262	+7.3%
営業利益	7,921	8,000	+78	+1.0%
経常利益	8,458	8,500	+41	+0.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,791	5,300	△491	△8.5%

- 売上高については、主要のオートモーティブ事業におけるEVやコネクテッド等のサービス領域の拡大及びテクノロジーを活用した一部業務の自動化促進等による効率化、金融保証事業における主力の家賃債務保証事業等の堅調な推移により、増収を見込む。
- 営業利益については、旺盛な需要にこたえるべく、継続して体制強化にかかる人員増加や賃上げ等に取り組むため、微増。
- 2024年3月期に計上した投資有価証券売却による特別利益の効果が無くなること、現時点で賃上げ税制の適用を見込まないこと等により、減益。

(百万円)



*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

2025年3月期 事業別業績予想

(百万円)

*表示単位未満の端数は切り捨てて表示しているため、合計値が表示の値と合わない場合があります。

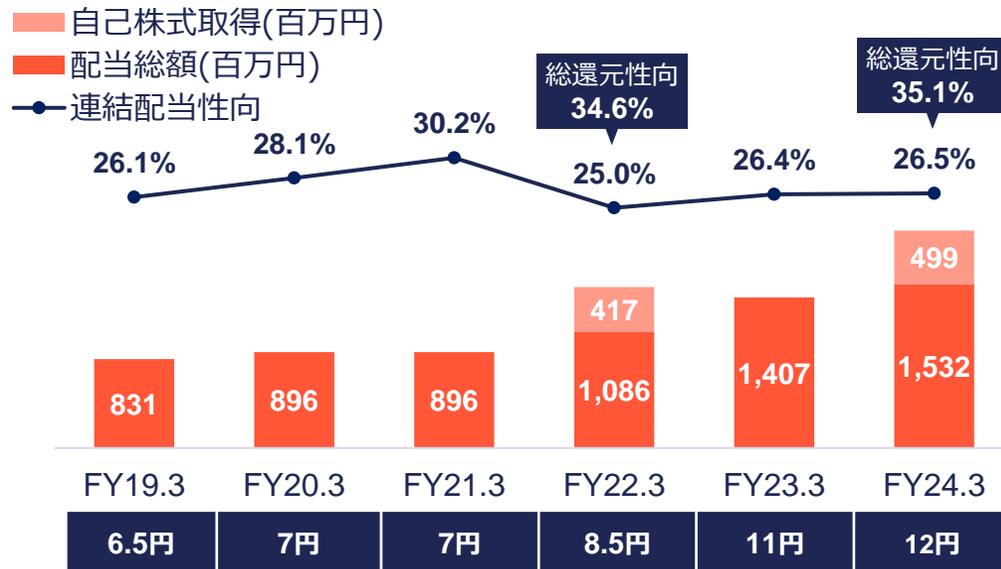
	FY2025.3 売上高	YoY (%)	FY2025.3 営業利益	YoY (%)	
オートモーティブ事業	27,960	+2,660 (+10.5%)	3,610	+68 (+1.9%)	価格交渉に加え、EV等のサービス領域拡充のほか、自動手配等の向上により効率性を高め、増収増益の見通し。
プロパティ事業	7,750	+689 (+9.7%)	710	+208 (+41.3%)	ホームアシストの賃貸物件等に対する駆けつけサービス拡大を図るとともに、パークアシストのメンテナンス等で包括的なサービス提供に取り組む。
グローバル事業	8,620	+515 (+6.4%)	960	+155 (+19.1%)	海外渡航者数の回復に伴うサービス利用拡大見込みに加え、既存サービスの拡充を図り、増収増益を見込む。
カスタマー事業	7,080	△869 (△10.9%)	710	△508 (△41.7%)	ワクチン関連業務が完全に終了したことで、減収減益。CRM関連の既存事業の拡大に加え、家電カスタマーサービス開始。
金融保証事業	10,230	+1,259 (+14.0%)	2,320	+247 (+11.9%)	家賃債務保証事業の成長に加え、医療・介護保証事業の拡充を図り、増収増益を見込む。
IT事業	500	△165 (△24.9%)	80	△53 (△39.9%)	システムの納品減少により、減収減益の見込み。
ソーシャル事業	860	+176 (+25.7%)	△390	△24 (一)	スポーツ事業のスポンサー収入および企画商品やチケット収入により増収を見込むも、戦力強化等にかかる費用が上昇する見込み。

■ 【重要指標】株主還元

■ 株主還元策

当社は株主の皆様に対しての還元を経営の重要な課題の一つとして位置付けており、2021年5月に公表いたしました2022年3月期からの中期経営計画においては、自己株式の取得を通じた総株主還元として「総還元性向30%以上」を目標に掲げ、基本方針に則った継続的かつ安定的な株主還元策を実施いたしました。

■ 株主還元の推移



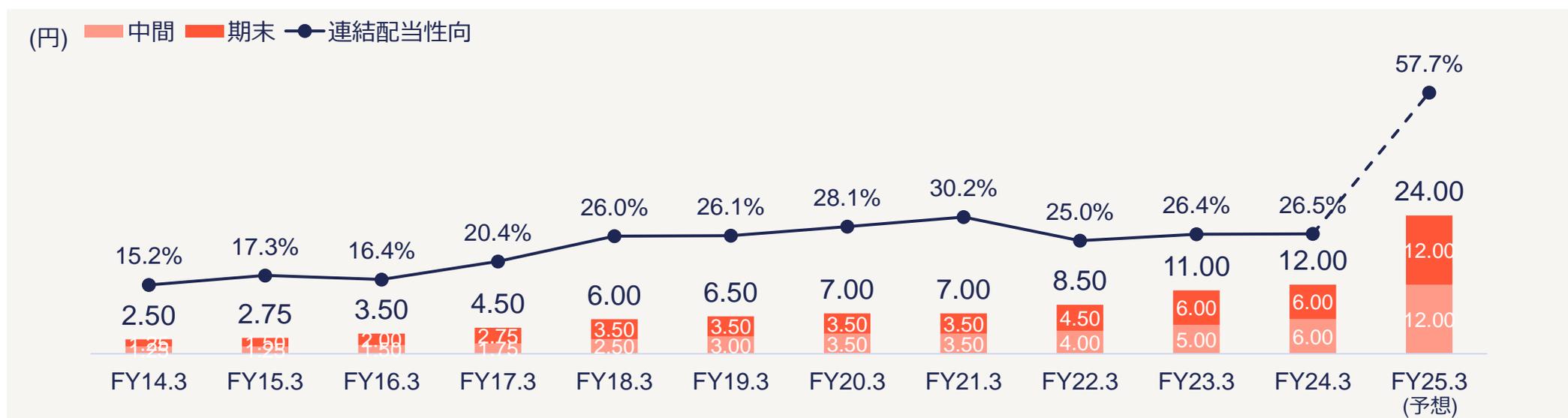
※ 2019年10月1日に、株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っており、配当金は、株式分割遡及適用後の数値を記載しております。

■ 2024年3月期の取り組み

当期利益計画における上期の進捗および株主の皆様への還元策として市場環境・資本の状況を総合的に勘案した結果、2023年10月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施いたしました。

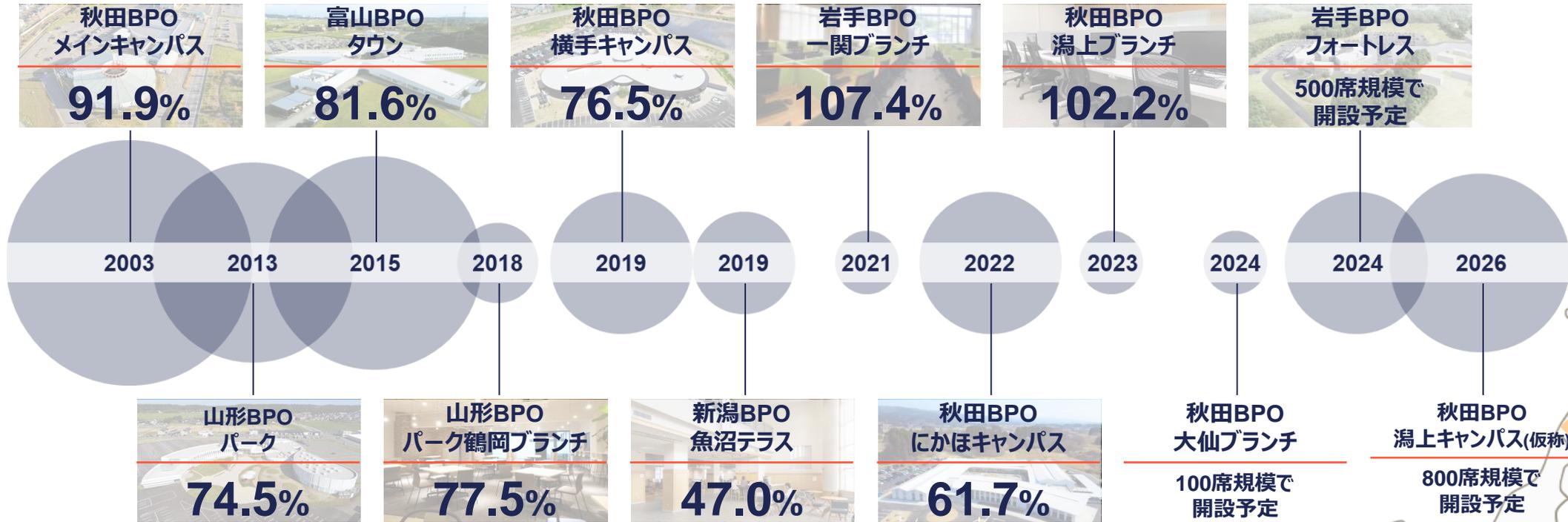
- (1) 取得対象株式の種類： 当社普通株式
- (2) 取得する株式の総数： 766,600株
- (3) 株式の取得価額の総額： 499,996,400円
- (4) 取得期間： 2023年11月6日～2023年11月30日
- (5) 取得方法： 東京証券取引所における市場買付け

		中間	期末	合計	連結 配当性向	総還元性向
FY2024.3 (実績)	1株当たり配当金(円)	6.00	6.00	12.00	26.5%	35.1%
	配当額(百万円)	768	764	1,532		
FY2025.3 (予想)	1株当たり配当金(円)	12.00	12.00	24.00	57.7%	—
	配当額(百万円)	1,528	1,528	3,056		

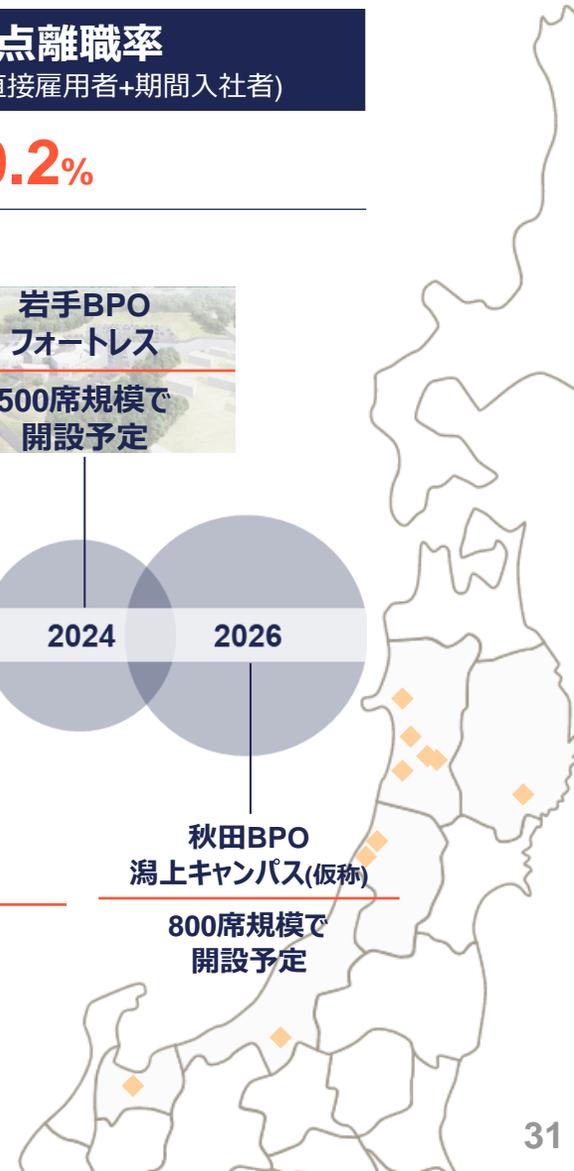


Appendix

稼働拠点総席数	稼働キャパシティ率 <small>*職者(派遣を含む) / 席数</small>	稼働拠点離職率 <small>期間退職者 / (期首直接雇用者+期間入社者)</small>
5,215席	79.9%	10.2%



今後の需要に応じ拠点展開を計画 ▶▶▶



■ サステナビリティ

女性活躍推進プロジェクト

当社では、若年層や女性が夢を持って働ける雇用環境を創造し、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置付け、2018年度にWEPRO(Woman Excite Project)を発足いたしました。2023年度より活動方針を一新し、男女問わず、全従業員のWEPROとしてさらなる発展を遂げるよう活動を強化しております。

■ 指標・目標

1. 2023年度(2024年3月期)までに女性管理者比率50%を目指します
2. 年代や性別にとらわれず、個々の能力を活かし「働きがい」が追求できる企業を目指します
3. ライフスタイルに対応したワークスタイル変革を推進します

■ 2024年3月期第4四半期の取り組み・成果

3月8日の『国際女性デー』にちなんだイベントを実施

『国際女性デー』は、国連によって1975年に制定されました。イタリアでは『ミモザの日』と呼ばれ、男性が日々の感謝の意を込めて、女性に美しいミモザの花を贈る日として知られています。

これになぞらえ、3月7日～3月14日の期間にて、メッセージカードとキャンディを配布し、男女問わず日ごろの感謝を伝える『ありがとうWeek』を実施いたしました。

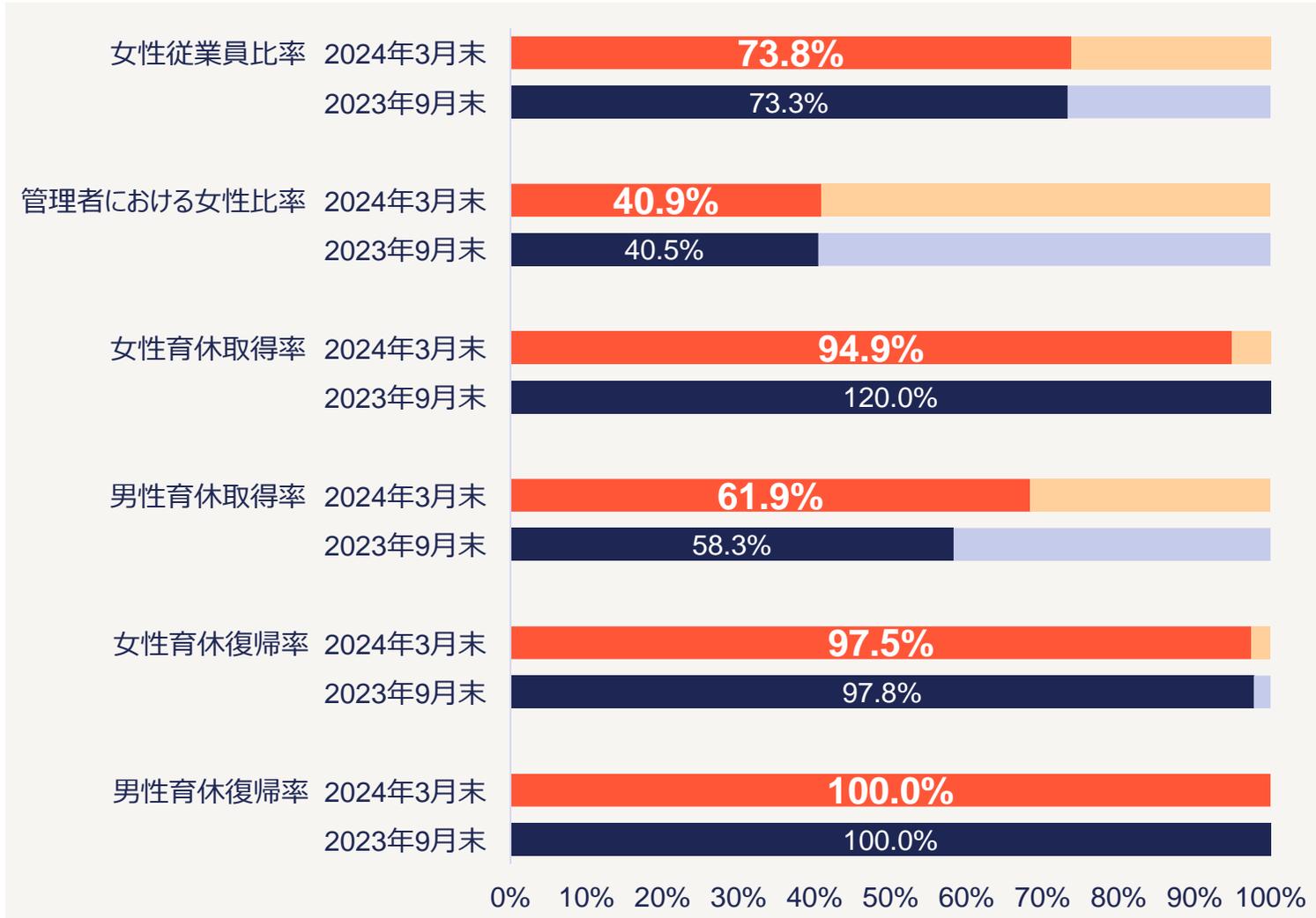


『やまがたスマイル企業』ダイヤモンド企業に認定

『やまがたスマイル企業』とは、誰もがいきいきと働き、幸せに暮らし続けられる山形県に向けて、「ワーク・ライフ・バランス」や「女性活躍」の推進に取り組んでいる企業等を山形県が認定する制度です。認定基準を満たした県内の企業や事業所が対象となります。

2024年3月1日に、山形BPOパークにて、3つのランクのうち最上位のダイヤモンドを取得いたしました。





**女性育休取得率
2023年9月末時点について**

前年度に出産したものの、今年度に育休取得をした従業員が含まれるため、100%を越えています。

*対象：プレステージ・インターナショナルの従業員

健康経営プロジェクト

プレステージ・インターナショナルグループの財産である人 = 全従業員が、明るく健やかに働くことができるとともに、従業員一人ひとりが仕事を通じて自己実現ができる職場の環境づくりを行います。そのために、従業員の健康保持・促進、また身体や心の不調の防止・早期解決に向け、会社及び健康保険組合が一体となって、健康増進施策に取り組んでまいります。

■ 健康経営プロジェクト体制

2019年より代表取締役のもと人事統括部門・経営統括部門を事務局として健保組合及び当社地方拠点担当者と連携し、健康経営の取り組み強化に努めています。また女性活躍推進担当の取締役も参画することで、女性の健康課題へのアプローチや経営層との円滑な連携を図り、当社の経営課題解決に向けた取り組みを推進しています。

■ 『健康経営優良法人2024(大規模法人部門)』3年連続で認定

健康経営優良法人認定制度とは、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目標に、2016年度に経済産業省が創設した制度です。今後も従業員の健康的な行動習慣の定着と意識改革を実現するとともに、従業員一人ひとりが働きやすく、地域と共に繁栄できるグローバルカンパニーを目指します。



秋田県大仙市にサテライトオフィス 開設

秋田県内5カ所目の拠点となる「秋田BPO大仙ランチ」を、秋田県大仙市に開設することを決定し、2月28日に秋田県庁において立地協定締結式を執り行いました。大仙市は既存拠点のある秋田市と横手市の間に位置しており、これまで通勤等の移動時間の負担により両拠点に応募が叶わなかった潜在的な求職者に向け新たな雇用創出の機会を提供し、秋田エリアにおける総合的な成長を目指します。

■ 施設概要

開設地 イオンモール大曲(秋田県大仙市和合字坪立177)内
従業員 操業時15名程度／将来計画100名
操業開始時期 2024年4月

■ 秋田県における雇用状況

当社は、2003年に大規模な拠点を秋田県秋田市に開設し、事業拡大に伴い東北地方をはじめとする各地に拠点を拡大してまいりました。中でも秋田県内には、秋田市、にかほ市、横手市、潟上市において約2,200名※の従業員が就業しています。

※ 2024年3月末時点

■ 本件に関するリリース情報

2024年2月29日 [秋田県大仙市にサテライトオフィスの開設決定 立地協定締結式を実施](#)



▲ 締結式の様子



IRニュース配信サービス

IRニュース配信サービスは、プレステージ・インターナショナルの最新情報やニュースリリースなどを、ご登録いただいた皆様に電子メールにてお知らせするサービスです。
この機会にぜひご登録ください。

ご登録はこちらから▼

IRニュース配信サービス登録

QRコードからもご登録いただけます▼



本資料の取り扱いについて

本資料は当社をご理解いただくための情報提供を目的としており、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の予想に関する記述等につきましては、現時点における目標や予測に基づき判断したものであり、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績の数値、結果、パフォーマンス等は、現時点における将来の予想と異なる結果となる可能性がある点をご確認の上、ご利用ください。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢及び市場環境や当社グループの関連する業界動向の変化、その他内部・外部要因等により予告なく変更することがあります。



PRESTIGE INTERNATIONAL